

卒後2年目事例検討研修

— 実践につなげる事例検討 —

卒後2年目看護職員が事例検討研修を受講しました。「心に残っている看護場面」についてグループワークを行い、看護理論の活用や、それぞれの部署での経験を踏まえながら、患者理解を深めていました。



「他にどのようなケアができたか」だけではなく、自分が実践したケアについて、行動の理由や判断を言葉にし、看護の意味や効果を考えました。

グループで話し合った内容は模造紙にまとめ、全体会で共有しました。患者と家族双方の思いを尊重した意思決定支援や、ストレスや不安が強い患者への関わりなど、事例検討から多くの具体策や気づきが得られていました。



自分が大切にしている看護観

患者さんの「どうなりたいか」「どうしたいか」という思いを尊重すること
それぞれの患者さんが自分らしく過ごせるよう寄り添うこと
etc.